

《単元の指導計画》

授業日時	時間数	学習内容	生徒の活動	使用教材
11月18日(月) 6時限目 14:10~15:00	1	お金について具体的に考える	学習記録カルテ①の質問に答えいき、子どもたちに発表させることで、現在の中学3年生のお金についての考え方をみんなで共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録カルテ① ・知ろう!学ぼう!お金の使い方
11月20日(水) 4時限目 11:40~12:30	1	収入と支出について考える	生活設計・マネープランゲームを行い、実際の収入と支出のシミュレーションを行う。 (班活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活設計・マネープランゲーム ・マネープランシート ・PC/プロジェクター
11月22日(金) 3時限目 10:40~11:30	1	上記2時間の学習を経て、お金についての考え方の変化をみる	学習記録カルテ②の質問に答えいき、「生活設計・マネープランゲーム」体験をとおして、生徒たちのお金に対する考え方を再確認する。その上で、以前に学習した内容を復習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録カルテ②

11月18日(月)6時限目(14:10-15:00)

1時間目

本時のテーマ:「お金について具体的に考える」

本時の目的:①学習記録カルテ①の質問に答えていくことで、お金について具体的に考えることができる。

②それぞれが、お金についての考え方を発表することができる。また、他者の発表を聞き、自分の考えと比較し共有することで、より理解を深めることができる。

時間	おもな学習内容	指導上の留意点
導入	<3時間の授業について> これからの3時間は、お金との関わり方、“かしこい”消費生活のあり方について考える授業を行うことを伝える	
展開	<お金について具体的に考える> 1. 学習記録カルテ①のQ1~Q4について考え、記入する Q1. あなたにとってお金とは何ですか? Q2. あなたにとって、お金と思い出はどちらが大切ですか? Q3. あなたの家庭は節約家、それとも浪費家? Q4. 10年後(25歳)、あなたは節約家になると思いますか、それとも浪費家になると思いますか? 2. 記入した内容を発表する 3. 学習記録カルテ①Q5~Q7について考え、金額を記入する Q5. あなたの人生におけるビッグイベントにかかる費用について予想してみよう。結婚費用 / 出産費用 / 葬儀費用 Q6. あなたが結婚する際に、男子はいくらの婚約指輪をプレゼントしますか?女子はいくらの婚約指輪をプレゼントされたいですか? Q7. 35歳になったあなたには月30万円の収入があるとしましょう。どのようにお金を使いますか。ただし、結婚をして子どもが2人(小学1年生と幼稚園年少)いる4人家族で、共働きでないという設定で考えましょう。 ①衣食住関連費 ②光熱水道費 ③交通・通信費 ④保健医療費 ⑤教育関連費 ⑥趣味関連費 ⑦レジャー関連・交際費 ⑧税金 ⑨社会保険 ⑩各種保険 ⑪貯蓄(残金) 4. それぞれの金額を発表する、平均的な金額(相場)を知る	○Q1~Q4については、「なぜ、そう思うのか、感じるのか」、具体的な理由を考えて記入するように促す。 ○それぞれの考えを共有・比較することで、理解を深める。
まとめ	5. まとめ 学習カルテ①Q8. に感想を記入する	○見当がつかないことが想定されるので、知ろう!学ぼう!お金の使い方 p6 を参照するよう指示。 ○お金に対する考え方(価値観)は、それぞれ違うことを知り、違う考えも受け入れられるようにする。

社会科 学習記録カルテ①

()組 ()番 氏名()

単元 教科書 P108・109 「わたしたちの消費生活」

学習課題:「“かしこい”消費生活のあり方とは？」

Q1 あなたの人生にとってお金とは何ですか？

Q2 あなたにとって、お金と思い出はどちらが大切ですか？

お金 (1 2 3 4) 思い出
なぜ、そのように思いますか？具体的に書いてみよう。

Q3 あなたの家庭は節約家、それとも浪費家？

節約家 (1 2 3 4) 浪費家
どのような点でそう感じますか？具体的に書いてみよう。

Q4 10年後(25歳)、あなたは節約家になると思いますか、それとも浪費家になると思いますか？

節約家 (1 2 3 4) 浪費家
なぜ、そのように思いますか？具体的に書いてみよう。

Q5 あなたの人生におけるビッグイベントにかかる費用について予想してみよう。

【あなたの予想】 ・結婚費用 ()円 ・出産費用 ()円 ・葬儀費用 ()円	→	【実際の相場】 ・結婚費用 ()円 ・出産費用 ()円 ・葬儀費用 ()円
---	---	--

Q6 あなたが結婚をする際に、男子はいくらの婚約指輪をプレゼントしますか？
女子はいくらの婚約指輪をプレゼントされたいですか？
()円



Q7 35歳になったあなたは月に30万円の収入があるとしましょう。どのようにお金の使いますか。ただし、結婚して子どもが2人(小学校1年生と幼稚園年少)いる4人家族で、共働きではないという設定で考えましょう。

	項目	金額
① 衣食住関連費	食費	円
	被服費	円
	家賃	円
② 光熱水道費	電気代	円
	ガス代	円
	水道代	円
③ 交通・通信費	電話・携帯電話・インターネット代など	円
	ガソリン代・定期代など	円
④ 保健医療費	治療費・薬代	円
⑤ 教育関連費	塾・習い事・通信添削など	円
⑥ 趣味関連費	本・ゲーム・マンガなど	円
⑦ レジャー関連費・交際費	旅行・外食・飲み会	円
	子どものお小遣いなど	
⑧ 税金	所得税・市民税など	円
⑨ 社会保険	健康保険・雇用保険など	円
⑩ 各種保険	生命保険・自動車保険・学資保険など	円
⑪ 貯蓄(残金)		円

※ 新聞購読する人はその費用を電話・携帯電話・インターネット代に含みましょう。

Q8 これらの質問に答えてみて、また、グループで話をしてみて、「かしこい」消費生活を送ることができる人間にならなくてはいけないと思いませんか？

思う (1 2 3 4) 思わない

【理由】

11月20日(水)4時限目(11:40-12:30)

2時間目

本時のテーマ:「収入と支出について考える」

本時の目的:①収入と支出のシミュレーションをすることで、将来の家計を予測・検討を行い、収入と支出のバランス、“かしこい”消費生活のあり方を考えることができる。

②班で協力して、生活設計・マネープランシートを完成させ、結果発表することができる。

また、他の班の発表を聞き、自分の班の結果と比較・共有することで、より理解を深めることができる。

時間	おもな学習内容	指導上の留意点
導入	<生活設計・マネープランゲーム> ・班長、計算係、記録係、思い出係の確認 ・収入と支出のシミュレーションをすることで、将来の家計を予測・検討し、収入と支出のバランスと“かしこい”消費生活のあり方を考えさせる。	○自分の人生をシミュレーションすることで、学習意欲を高め、経済分野の学習への興味・関心を喚起する。
展開	<20歳代の人生を体験> ①裏にした「収入カード」(緑)と「基本生活支出カード」(青)を引く ②収入と支出をシートに記入する ③20歳代の貯蓄額を計算して、シートに記入する ④思い出ポイントをシートに記入する <30歳代の人生を体験> ①収入と支出をシートに記入する ②裏にした「結婚カード」「子育てカード」(紫)を引く ③30歳代途中までの貯蓄額を計算する ④表にした「住居カード」(紫)を選び、購入方法(賃貸、一括購入又はローン)を決める ⑤裏にした「自動車カード」(紫)を引く ⑥表にした「保険カード」(灰)を選ぶ ⑦裏にした「イベント&アクシデントカード」(赤)を引く ⑧30歳代の貯蓄額と思い出ポイントを計算し、シートに記入する <40歳代の人生を体験> ①収入と支出をシートに記入する ②配偶者・子どもの生活費、住居費、自動車購入費、保険に入るかを決め、シートに記入する ③裏にした「イベント&アクシデントカード」(赤)から2枚引き、シートに記入する ④40歳代の貯蓄額と思い出ポイントを計算し、シートに記入する <50歳代の人生を体験> ①収入と支出をシートに記入する ②配偶者・子どもの生活費、住居費、自動車購入費、保険に入るかを決め、シートに記入する ③裏にした「イベント&アクシデントカード」(赤)から2枚引き、シ	○偶然性で行われる結果であるため、生活設計やマネープランなしの人生であることを理解させる。 ○シートへの記入が分かりやすいように、ゲーム進行PPTをスクリーンに写し、一緒に作業を進める。 ○30歳代では、記入する箇所が多いため、スクリーンに注目させながら生徒と一緒に作業を進め、時間がかからないように留意する。 ○結果として40歳代終了時点での収支を見る中で、生活設計やマネープランが必要であることを理解させる。 ○50歳代では、記入する箇所が多いため、スクリーンに注目させながら生徒と一緒に作業を進め、時間がかからないように留意する。

<p>まとめ</p>	<p>トに記入する</p> <p>④50 歳代の貯蓄額と思い出ポイントを計算し、シートに記入する</p> <p><退職を迎える></p> <p>①裏にした「退職金カード」(茶)を引き、シートに記入する</p> <p>②貯蓄額と思い出ポイントを集計し、シートに記入する</p> <p><各グループの結果発表></p> <p>①班長が各班の結果を黒板に書きだす</p> <p>②どんな人生だったかを班長が発表する</p> <p>③ワークシートを記入させる</p>	<p>○生徒に黒板へ板書させることで、クラス全体で状況を比較し、共有することができ、より興味をもって各班の発表が聞ける。</p> <p>○結果を見て、収支のバランスの大切さ、そのための生活設計の大切さを確認する。</p> <p>○貯蓄額と思い出ポイントのバランスを見て、人生の価値観についても考えさせる。</p>
------------	---	--

11月22日(金)3時限目(10:40-11:30)

3時間目

本時のテーマ:「お金についての考え方の変化をみる」

本時の目的:①学習記録カルテ①、②の質問に答えていくことで、お金について具体的に考えることができる。

②それぞれが、お金についての考え方を発表することができる。また、他者の発表を聞き、自分の考えと比較し共有することで、より理解を深めることができる。

時間	おもな学習内容	指導上の留意点
導入	<生活設計・マネープランゲームの振り返り> 前時のゲーム結果を振り返り、人生にはお金が不可欠であること、収支のバランスの大切さ、人生の満足感等について確認。	○支出が収入を上回っていないか注意を促す。 ○ライフスタイルの違いによって、それぞれの金額が変化することを伝える。
展開	<“かしこい”消費生活について考える> 1. 学習記録カルテ①のQ7を、班活動で完成させる 2. 記入した金額を発表する 3. 教師の1ヶ月の支出を例に、それぞれについて現実的な金額を知る 4. 学習記録カルテ②のQ1~Q4について考え、記入する Q1. 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、またグループで話をしてみて、あなたにとってお金と思い出のどちらが大切ですか? Q2. 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、またグループで話をしてみて、10年後(25歳)、あなたは節約家になると思いますか、それとも浪費家になると思いますか? Q3. 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、またグループで話をしてみて、“かしこい”消費生活を送ることができる人間にならなくてはならないと思いましたか? Q4. 学習記録カルテ①、「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、またグループで話をしてみて、自分が家族を持つようになったら、どの費用を節約して、どの部分の支出を多くしたいと思いましたか?	
まとめ	5. 記入した内容を発表する	○3時間の授業をとおして、生活設計やお金との関わり方について、考え方が変化した点、しなかった点について着目させる。

社会科 学習記録カルテ②

()組 ()番 氏名()

単元 教科書 P108・109 「わたしたちの消費生活」

学習課題:「“かしこい”消費生活のあり方とは？」

Q1 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、また、グループで話をしてみて、あなたにとって、お金と思い出はどちらが大切ですか？

お金 (1 2 3 4) 思い出
なぜ、そのように思いますか？具体的に書いてみよう。

Q2 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、また、グループで話をしてみて、10年後(25歳)、あなたは節約家になると思いますか、それとも浪費家になると思いますか？

節約家 (1 2 3 4) 浪費家
なぜ、そのように思いますか？具体的に書いてみよう。

Q3 「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、また、グループで話をしてみて、“かしこい”消費生活を送ることができる人間にならなくてはいけないと思いましたが？

思う (1 2 3 4) 思わない
【理由】

Q4 前回の学習記録カルテ①や「生活設計・マネープランゲーム」を体験してみて、また、グループで話をしてみて、自分が家族を持つようになったら、どの費用を節約し、どの部分の支出を多くしたいと思いましたが？

節約する費用() 支出を多くする部分()
【理由】

＜わたしたちの消費生活の復習＞

- (1) 収入と支出の活動を通して家庭を維持していくことを何というか。
- (2) 収入(所得)は大きく3種類に分かれる。下の①～③に当てはまる語句を答えなさい。
 - ① 会社や官庁などで働いて得る賃金収入を何というか。
 - ② 個人で会社や商店などを経営したり、農業・漁業などを営んだりして得る収入を何というか。
 - ③ お金・土地・部屋などを貸して得る収入を何というか。
- (3) 支出も大きく3種類に分かれる。下の①～③に当てはまる語句を答えなさい。
 - ① 食料費、住居費、光熱・水道費などのように、毎日の生活に必要な支出を何というか。
 - ② 税金や社会保険料などのように、毎日の生活に必要なでない支出を何というか。
 - ③ 銀行預金や生命保険料など、将来に備えるための支出を何というか。
- (4) 1962年、アメリカのケネディ大統領が「消費者の四つの権利」を主張したが、すべて答えなさい。
- (5) 製品の欠陥によって消費者が被害を被った場合、企業に過失がなくても製造者である企業側に被害の請求を義務づけた法律を何というか。
- (6) 一定期間、無条件で申込を撤回、または契約を解除できる制度を何というか。
- (7) 悪質商法の例を1つ挙げ、それについて説明しなさい。

11点

(1)		
(2)①	②	③
(3)①	②	③
(4)		
(5)	(6)	
(7)		